

緑の風 NEWS

JR東労組

NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年12月25日 No.53



12月25日、5名のお客さまが亡くなり、お客さま31名と乗務員2名が負傷した「JR羽越本線脱線事故」から20年を迎えた。

あらためて「命」の重さを再認識し、私たちは安全第一に判断することが求められています。安全第一こそが二度と同じ過ちを繰り返さない教訓であり、原因究明委員会の重要性を捉え返す必要があります。

会社は「勇翔2034」を発表しましたが、グループ理念で「**安心の中に安全がある**」と言っていますが、職場から届く声は「要員不足で休日勤務2回は当たり前」「人が減る一方で年休が入らない」など、安心感を与える職場環境とは言えません。また、一部管理者によるパワハラやミスの隠ぺい、当事者への責任追及など信じ難い事象が多く発生しており、いつ重大事故が発生してもおかしくない状況となってきています。

JR東労組は健全な会社にするために、安全風土の再確立に向けて職場から安全議論を展開し、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学をもとに、組織強化・拡大をめざしてたたかっていきます！

「命」を最大の価値基軸として安全の声をあげていこう！